

与論町庁舎建設検討委員会 会議録

会議名	第8回与論町庁舎建設検討委員会
会議の日時	平成28年11月9日 午後6時～午後8時10分
会議の場所	役場庁舎3階 委員会室
議長	委員長（副町長） 久留 満博
説明者	事務局（総務企画課 係長）竹村 栄作
書記	事務局（総務企画課 係長）竹村 栄作
出席者	16人（別紙出欠簿のとおり）、その他 山町長、柿沼准教授）

<会次第>

- 1 開会、2 委員長あいさつ、3 議事、4 閉会（山町長あいさつ）

<配布資料>

- 1 平成28年度庁舎建設検討委員会委員名簿
- 2 第7回会議録・出欠簿
- 3 第1回与論町庁舎建設計画に関する住民説明会会議録
- 4 新庁舎建設予定地について
- 5 役場庁舎の仮移転について
- 6 住民説明会資料

■議事1

議題	第7回与論町庁舎建設検討委員会会議録の公表について
内容	（委員長）第7回の検討委員会の会議録は事前にお配りしておりますが、お目通しいただき何かございましたらお願いします。質問事項等何かございませんか。 （委員）これは、すでに公表してるんですよね。 （事務局）本日の委員会で承認を得てから公表します。 （委員長）それではご意見が無いようですので、第7回の会議録公表についてご承認いただきたいと思います。 ～異議なし～

■議事2

議題	第1回与論町庁舎建設計画に関する住民説明会会議録について
内容	（委員長）第1回与論町庁舎建設計画に関する住民説明会の結果についてです。事務局から補足説明いたします。

	(事務局) 住民説明会は町政報告会に併せて開催しております。 以下資料説明。(住民説明会での意見への検討結果) (委員長) 只今、当日の質問・要望事項について説明がありました。これについて、ご意見等はありませんか。住民説明会をもっと開催した方がいいという意見に対しては、本検討委員会の後、第2回目の住民説明会を持とうということで準備を進めているところです。それでは、何も無いようですので次に移ります。
--	---

■議事 3

議題	津波被害の影響について (鹿児島大学学術研究院 柿沼准教授)
内容	・ 津波と風波の違い ・ 東日本大震災の津波発生メカニズム ・ 東日本大震災の津波被害の調査結果等 ・ 調査地点毎の津波遡上高や被害状況、避難状況 質疑応答部分のみ (委員) 与論はサンゴ礁に囲まれていて、これが天然の防波堤の役割を果たすと言われているが、実際はそうじゃなくて逆に津波は高くなるという話も聞こえます。あと一つは、地震の津波は海底が動いた所から始まっているのか。 (柿沼先生) まず津波の発生地点から申し上げますと、海底が持ち上げられたり下がったりすると全体が持ち上げられたり下がったりします。水は高い所、低い所があるとバランスが悪くなるので、そのエネルギーを伝播させてエネルギーの状態を均一にしようとしています。筒などを利用してある場所だけ水面を高くすると、筒がある場合は高い部分が支えられていますが、筒をはずすと支えている物が無くなるので、さーと低い方に流れて行きます。それからもう一つのサンゴ礁のリーフの影響についてです。リーフがあると風波については、沖で碎波します。砕けます。波のエネルギーが減るわけで、波高が小さくなった波がくるので、砕けたことによって波はかなり減水されるので風波に対しては安全になります。ところが、浅い所は波がどんどん高くなっていく可能性があるのも、もしかすると浅い所で砕けた波は高くなる可能性があります。津波になりますと、ものすごく長い波で波高も大きいとすると急に浅くなった所であまり砕けなければ、そのままやってきて浅い所でどんどん高くなる可能性があります。しかし、浅い所でかなり高くなってくると、分裂も起こります。最初一波だったものがボコ、ボコと波をつくって行って分裂してだんだん最初の波は減っていく可能性もあります。何とも言えないです。リーフがあるから安全ということとは言えないです。ただし、風波に対しては、かなりの役割を果たしてくれていると思います。津波に対しては、津波の規模にもよりますし一概

に言えないです。ある想定、仮定をしないと計算できないので決めているわけですが、それに対してどうなるかシュミレーションをしないと何とも言えないです。

（委員）地震で液状化したら物が全部沈むと思っていたが、よくマンホールとかが浮き上がってくるじゃないですか。これはどういう現象ですか。

（柿沼先生）液状化ですか。例えば入れ物に砂を入れます、水を浸しておきます、中に何か物を入れておきます。そうして揺さぶると上がってきます。

（委員）液状化したら全体、ああいう構造物は沈むものかと思ったらそうばかりじゃない。

（委員）津波の引き波や第一波、第二波について教えてください。

（柿沼先生）引き波があつて津波がやって来ると思ったら間違いです。その場合もあるけれど、引き波が無くて、まず押し波が来ることもあります。

（委員）先ほど十何mという波を観測しているとありましたが、第一波、第二波なんですか。

（柿沼先生）調査では、最高地点を調査しているので、それが第一波なのか第二波なのかの調査は行っていません。

（委員）第一波の後に第二波が来ると想定しなければならないのか。

（柿沼先生）例えばこれは、日向灘地震津波の地盤の変動を想定したシュミレーションですけど、この場合引き波が来ています。第一波が今あたりました、この後反射して帰るのではなくて、このように浅い所を伝わって行くんです。桜島の話をしてましたが、トラップされるわけです。捉まるんです。直接行く波もあれば、浅い所を伝わって行く波もあります。なので津波の警報とか注意報は何時間も出しているのは、こういうことが考えられるからです。実際に何波も来ているわけです。計算をしますと、その時々の時系列が出ますので、引き波が起こっていたり、一波、二波の大きさが分かってきます。

（委員長）柿沼先生にご説明をいただきました。与論は島が小さいものですから、東側から津波が上がったとしてもあつという間に西側に、あるいは西側から上がったとしてもあつという間に東側方面に想定されるわけで、そういったことを頭に入れていただき、本町への津波は4m70程度と予想されておりますが、先生の話をお伺いしますと、3倍から4倍、現在の想定からすると海拔20mくらいを想定した色々な施設が必要じゃないかと思ってお伺いしました。

■議事 4

議題	新庁舎建設予定地について
内容	事務局から資料説明 （委員長）担当から資料の説明がありましたが、20ページをご覧ください。駐車場予定地となっている所は〇〇さんの土地です。そこから県道までの道路拡幅区間と記載された所が〇〇さんの土地、また、道路新設区間の県道側から入って茶色い畑の部分は〇〇さんの土地なのですが、地主さんに話をしまして概ね了解は得られています。旧町立診療所は、コンクリートの劣化過程で役場より少しいくくらいで、あちこちヒビが入って剥がれ落ちたりしています。これがさらに過ぎて行きますとコンクリートの建物としては限界だというふうに色んな資料を見ますとそういう状況です。前の方から見ますとそうでもないんですが、裏から見ますとあちこち基礎の部分が浮いていたり、側溝が崩れたり、医師住宅の所もそれに近い状況にあります。いずれお金・予算をかけてこの施設も改修、若しくは撤去しなければならなくなります。駐車場予定地の〇〇さんが、たまたま与論に来られた際にお話をしましたら、役場関係のそういった事業でしたら協力しようという返事をいただいております。また、旧診療所を壊すとコンクリートの殻が出ますが、そういったものについては道路用地の敷料としてうまく再生して利用ができるということもありまして、処理できない物を産廃物として処理できれば、予算的にも軽減できるのではないかと思います。県道から保健センターへの道路については、給食センター側の道路一本ですと万が一何かあった時に大型車が出入りできないという理由と茶花小学校と産業道路からの皆さん方が避難できる道路をとということで、車道と歩道を付けた道路が整備出来ないかと考えているところです。第7回目の検討委員会では、旧診療所の北側の用地も出でいましたが、市街地から最短で高台に上がるなど色々考えてみましたが、こういった方向が一番いいのではないかとということで、話をまとめたところでございます。 （委員長）皆様からご意見を頂戴したいと思います。 （委員）いいんじゃないでしょうか。菊池水道側から保健センターに抜ける道路の保健センターの前が狭いので、道路整備の際に一緒に拡張してもらいたい。また、菊池水道側に抜ける道も拡張整備出来たらもっといいんじゃないか。 （委員）菊池水道側からの道路を利用する人も結構いるので、お客さんにとってはいいのではないかと。 （委員）旧診療所、医師住宅の用地を活用することと、現在、整地されて建物が建っている用地に造るので非常にやり易いんじゃないかと、また、道路用地で地権者の同意も得られているということで総合的に非常に素晴らしい方向性だと

	思います。駐車場用地は、埋め土しなければならないかな。 (委員長) 中央公民館側を少し埋めて、現在のレベルに合わせることになると思う。現在の役場の周りでは職員の車はとめられない状態ですので、来客は新庁舎の前にとめて、職員や公用車は駐車場用地側にとめることになると思います。 (委員) 将来的には、叶や高校に抜ける道も整備を考えて行かなければならないのじゃないか。 (委員長) 将来的には、どちら側にもスムーズに通れる道路整備が必要になると思っています。 (事務局) 今回図面で示した新設道路を、もう少し保健センター側に寄せて計画していきます。 (委員長) 茶花小学校から高校へ抜ける道は、県道や町道の拡幅で進んでおりますが、中央通や銀座通りなどから一気にこの道に集中しますので、産業道路や子どもたちがすぐ高台に上がって行けるような道路の整備していきたいと考えています。 (委員) ヘリポートも必要になるのか？ (委員長) 基本計画や設計の中で必要性を含め具体的に検討していきたい。 (委員) 既存の施設用地を活用するので非常にいいと思います。活断層のデータというのはいつ頃のものですか。 (事務局) 活断層の資料について、２００２年の文献から引用しております。最近発表された資料ではないです。 (委員) 断層はあちこち動くわけでもなく資料が新しい古るいはないんじゃないのか。新しくできれば別だけど。 (委員長) そうですね元々あったものを調査している資料ですから。 (委員長) 他に何かありませんか。 ご意見が無いようです。次回の住民説明会の資料について、こういった形でまとめましたということで提案させていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。 (委員) はい。 (委員長) 図面の道路の位置などを修正しまして、住民説明会に提出していきたいと思います。
--	--

■議事 5

議題	現役場庁舎の仮庁舎への移転について
内容	(事務局) 役場庁舎の仮移転については、この検討委員会の決議事項ではないと認識していますが、新庁舎の建設に関わってきますので内容について説明させていた

	だきます。 担当から資料説明 （委員）この検討委員会では、最初は仮庁舎じゃなくてこの今の庁舎を利用して金がかからないようにというのが、最初の話だったんですけど、それから違って来たんですか。 （事務局）本日欠席の委員さんからも当初の話から変わってきているのではないかと、予算が無いので仮移転はしないという話で進んでいたのではないかとという意見もありました。 （委員長）これまでは、対津波だということで3.11以降は進めてきました。ところが、熊本の震災をみまして、一般町民はもとより役場職員が少しぐらっとすると役場から全員逃げ出している状況です。この前の震度4の地震の時も全職員が外に出まして、庁舎が危ないというのは全職員分かってますので身の安全或いはここを利用されている方の安全を第一に考えますと、分散してでもやらなければならないという結論で役場内では相談しています。それともう一つ、この役場の3階部分は鉄骨造りで、台風で役場の南側や道路側に飛んだらどうするんだということで、早くこちらを壊した方がいいのではないかと色々な意見もあり、安全第一に分散してでも新庁舎ができるまで臨んだ方がいいのではないかとという結論に達しております。 （委員）お金に換えられないところもありますので。 （委員）はい、わかりました。 （委員長）今度の新庁舎の住民説明会でも、町民の皆様に理由など申し上げてご理解いただいて短期間に進めて、新しい年度の連休明けには移動できているように進めて行きたいと思いますのでよろしくお願いします。
--	---

■議事 6

議題	住民説明会の日程及び確認資料について
内容	資料説明 （事務局）住民説明会での配布資料は、第2回与論町新庁舎建設計画に関する住民説明会という資料の中に、本日の第8回の検討委員会の内容を追加する形で作成します。 （委員長）住民説明会の日程や資料については何かありませんでしょうか。 （委員）～特になし～ （委員長）第1回の住民説明会の中でアンケートをもう一度行った方がいいという意見がありましたが、これについては、いかがですか。

	(委員) もうやらない方がいい。 (委員) そうすると元に帰って前に進まなくなる。 (委員) 前のメンバー、このメンバーで決めたわけだから、決めたことを繰り返したらきりが無い。 (委員) 最初のアンケートでも移転の方が大多数なわけだから。そういう意見もあるだろうけど、何回もすることになる。 (委員長) それでは、今度の住民説明会において先程の資料を提案して事業を進めてまいりたいと思います。
--	---

■議事 7

議題	その他
内容	(委員長) その他何かありませんか。 (委員) スケジュール的に第3回住民説明会を3月に行うことになっていますが、仮庁舎の移転はこの時でなければ分からないのか。 (委員長) 仮庁舎の移転により各種団体にも契約等の対応がでてくると思いますが、進捗に応じ各団体と対応していきたいと考えておりますので、お願いいたします。

■閉会のあいさつ 山町長

第8回与論町庁舎建設検討委員会出欠簿

No.	職 名	氏 名	H28.11.9
			出 欠
1	茶花自治公民館長	山本 池富	×
2	立長自治公民館長	原 栄徳	○
3	城自治公民館長	川畑 俊光	×
4	朝戸自治公民館長	池田 吉光	×
5	西区自治公民館長	内野 豊信	×
6	東区自治公民館長	永井 弘	×
7	古里自治公民館長	竹 盛彦	×
8	叶自治公民館長	原田 新一郎	○
9	那間自治公民館長	山下 健勇	○
10	地域女性団体連絡協議会長	高田 りえ子	○
11	連合青年団長	池田 一樹	×
12	壮年会連絡協議会長	富士川 浩通	○
13	与論町老人クラブ連合会長	竹内 充啓	○
14	あまみ農業協同組合 与論事業本部 統括理事	南 仁孝	×
15	与論町漁業協同組合 代表理事組合長	町 英八郎	○
16	商工会長	田畑 克夫	○
17	ヨロン島観光協会会長	永井 新孝	○
18	体育協会会長	川上 政雄	○
19	文化協会会長	和田 きみ子	○
20	消防団長	富田 修平	○
21	社会福祉協議会長	大田 元茂	○
22	公益財団法人鹿児島県交通安全協会与論地区協会	野本 勝彦	○
23	町PTA連絡協議会長	沖 道春	○
24	副町長(委員長)	久留 満博	○
25	教育長(副委員長)	町岡 光弘	×
26	総務企画課長(事務局長を兼務)	沖島 範幸	×
27	町民福祉課長	酒勺 徳雄	×
28	商工観光課長	山下 哲博	×
		出席者の計	16

No.	事務局	氏 名	出欠
1	事務局長(総務企画課長)	朝岡 芳正(代理)	○
2	事務局(担当:総務企画課 係長)	竹村 栄作	○
3	事務局(副担当:総務企画課課長補佐)	阿野 斉(代理)	○